**患者の皆様へ**

2020年7月23日

アレルギー・膠原病内科

　現在、アレルギー・膠原病内科では、「ANCA関連血管炎の病態とApoA1-VAP2複合体の関連」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究ではANCA関連血管炎の患者さんの診療情報などを利用させて頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

１．研究課題名　「**ANCA関連血管炎の病態とApoA1-VAP2複合体の関連に関する検討**」

２．研究の意義・目的

過去の研究で、我々はANCA関連血管炎のモデルマウスの症状改善に有効な薬剤（VasSF）を発見し、その標的がApoA1-VAP2複合体であることを明らかにしました。しかし、人間のANCA関連血管炎においてApoA1-VAP2複合体が実際にどのような役割を果たしているかは不明のままです。今回の研究では、人間のANCA関連血管炎においてもApoA1-VAP2複合体が病的意義を持つのかどうかを検討します。

３．研究の方法

研究は、アレルギー・膠原病内科と千葉大学内のベンチャー企業であるA-CLIP研究所との共同研究として行われます。2010年〜2020年に当院で入院加療されたANCA関連血管炎(顕微鏡的多発血管炎および多発血管炎性肉芽腫症)の患者さんのうち、発症時・再燃時の通常採血の残りが保存されている方が対象です。その残っている血液を使って共同研究相手であるA-CLIP研究所でApoA1-VAP2複合体および関連する分子を測定します（A-CLIP研究所には測定のみを依頼し、血液や情報はアレルギー・膠原病内科でのみ保存されます）。ApoA1-VAP2複合体の測定結果と過去の電子カルテから収集した症状（症状のある臓器の部位やその程度など）および血液検査結果（腎機能や炎症の程度、ANCAの値など）との関連性を統計学的に検討します。

研究期間：2020年8月1日～2021年6月30日を予定しています。

４．個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院アレルギー・膠原病内科医局の鍵のかかる棚で保管します。

５．研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省･厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関　　：千葉大学医学部附属病院アレルギー・膠原病内科**

**本件のお問合せ先：医学部附属病院アレルギー・膠原病内科**

**医師　古田俊介**

**０４３（２２２）７１７１**

**患者の皆様へ（例）**

2014年3月23日

放射線科

　現在、放射線科では、乳がんの放射線治療による副作用に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では乳がんで放射線治療を受けられた患者さんの診療情報などを利用させて頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

１．研究課題名

「乳がん放射線療法による有害事象発生と関連因子の解析」

２．研究の意義・目的

「放射線治療による副作用の発生を予防・減少させ、放射線治療を安全に受けて頂くための方法を開発する」

３．研究の方法

「平成○年〇月○日から平成○年〇月○日の間において、診療録に記載されている血液検査値、放射線治療の方法と副作用の程度の関連を調べる」

４．個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院○○教室の鍵のかかる棚で保管します。

５．研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省･厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関　　：千葉大学医学部附属病院放射線科**

**本件のお問合せ先：医学部附属病院放射線科**

**医師　　千葉太郎**

　　　　　　　　　　**０４３（２２２）７１７１　　内線６９４２（放射線科受付）**